

建設生産ワーキンググループを設立

ロボット技術が建設現場を変える
中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム

i-ROBOT

- 「建設生産システム革新化技術検討」をテーマとして建設生産WG(ワーキンググループ)を設立。
- 第1回建設生産WGを平成27年7月29日(水)に開催、参加各社からのCIM、IoT等に関する技術動向についての紹介と意見交換を実施。
- 次回WGでは、更にテーマを整理し、意見交換及び技術検討を進める予定。

■建設生産WGの位置付け

中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム
会員84者 (H27.7.28現在)

あいちロボット
産業クラスター
推進協議会

役員会(福田代表(名城大学教授)他13名)

建設ICT導入
普及研究会

ワーキンググループ活動

WG1

建設生産

- ・CIM等設計段階における革新化技術導入、普及
- ・IoT、M2Mを活用したインフラ整備技術検討

WG2

技術開発

- ・災害対応、インフラ点検ロボットの開発、導入、普及



建設生産WG(H27. 7. 29)

■建設生産WG 参加者

日本電気(株)	三菱電機(株)
東芝ソリューション(株)	(株)日立製作所
パナソニックシステムネットワークス(株)	富士通(株)
中央復建コンサルタンツ(株)	(一財)日本建設情報総合センター
(一社)日本建設機械施工協会	国土交通省 中部地方整備局

■WG活動内容

- CIM、IoTに関する技術の情報共有
- CIM等設計段階における革新化技術導入、普及に向けての意見交換
- IoT、M2Mを活用したインフラ整備に向けての意見交換
- 要素技術などを持つ企業とのマッチング支援

■今後の活動予定

- ・次回WGでは、更にテーマを整理し、意見交換及び技術検討を進める予定。